
屋上

わるる

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】
屋上

【Nコード】
N7721A

【作者名】
わるる

【あらすじ】
夕方に会社から帰る男が、いつもと違う道で、変なものを見る話。

(前書き)

誰かが語っている様な妄想をしつつ、ノリと勢いで書きました。

あるサラリーマン仕事を終えて、
この日は少し遠回り。

性別男、歳30、いまだに独身彼女無し。
いつもと違う道で、夕方の散歩と洒落込んだ訳で御座います。

男がふと見上げると、そこには2階建てのアパートがありました。
その屋上に立つ一人の女性。

夕焼けに映える白いワンピース。

さらさらなびく長い黒髪。

透き通った白い肌。

丸くて大きな黒い瞳。

男が見とれていると、彼女は一步進みました。

もう裸足のつま先が、彼の目に入っていて、今にも落ちそうです。

男は言いました「おい、何やっているんだ、早く降りて来い！」

女は言いました「それはできません」

「何故だ」男が問うと、

「ここから落ちて死ぬつもりだからです」女が答えます。

しかし、彼女が立っているアパートは2階建て。

誰の目から見ても、飛び降りて死ぬような高さではありません。

「そんな高さからだど、落ちても死ねんぞ。痛いだけだ。それに、

話だったら俺が聞いてやる」

男はなんとか彼女を説得しようとしたのですが……

説得むなしく女は更に一步踏み出し、ひらりと落ちてしまいました。

頭から落ちる女。

ただ見つめる男。

そして、もう地面にぶつかる！という所で、女はフツと消えてしま

ったのです。

男はしばらく呆然としていました。

そして、幾分か経ち、少し冷静になりました。

すると、彼の脳裏には「幽霊」という二文字が浮かび上がったのです。

「ひょっとして俺は、この世のものでないのを見たのかもしれない」
と思うと、急にがたがたと震えだしてしまったのです。
なぜなら、彼は今までそんなものを見たことも無く、

友人の怖い話には冷笑し、

テレビの怪談番組にはケチをつけ、

恐怖小説、漫画は読んでいる最中に眠ってしまうほど、
信じてもないなく、興味を持っていなかったのですから。

ビバ大槻教授。

幽霊はみなプラズマで出来ているのだ。

それが彼の考えでしたから、この出来事は、月まで吹っ飛ぶ衝撃だったのです。

「落ち着け、こういうときには素数を数えるんだ……

2…3…5…7…」

翌日、どうしても原因を探りたい男は、友人に話を聞くことにしました。

「*アパートで、昔、飛び降り自殺があったか？」

友人1「NO」

2「NO」

3「NO」

4「NO」

5「Nein」……

結果、全員の答えは「いいえ」

確かに、昨日自分が思ったように、あんな高さから死ねるわけが無いんですから、

そんな事故・事件が起きるわけが無いのです。

結局、その後図書館で調べたらしいのですが、原因は分からなかったみたいです。

世の中には、

そんな奇妙奇天烈

原因不明

ヤマ無しオチ無し意味無しで、

全くお話に出来ないような、

そんな因果不明で関係のない出来事もある訳で……

以上、お話終わり。

（後書き）

執筆途中のままの文を、全部書き直したら、雰囲気が全く変わってしまいました。

前に書いた小説とは、雰囲気が180度違います。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7721a/>

屋上

2011年1月27日03時00分発行